

持続可能な保健所の健康危機管理体制

－残したいCOVID-19の教訓と集合知

1. 全国保健所長会
2. 厚労省
3. 組織内サージ*への備え
 - 1) 長崎県県央保健所
 - 2) 札幌市保健所
4. 全国保健所サージ*拡大への備え
 - 3) 長野市保健所
 - 4) 大阪府茨木保健所
5. 会員協議

*サージ：質and/or 量が通常業務の限界を超える事態

座長：白井千香（全国保健所長会健康危機管理に関する委員会委員長、枚方市保健所長）
古屋好美（山梨県保健所長会、甲府市保健所長）

Daily new confirmed COVID-19 cases & deaths per million people

7-day rolling average. Limited testing and challenges in the attribution of cause of death means the cases and deaths counts may not be accurate.



NHK https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/medical/
医療体制の現状は 専門家の見解は

新型コロナウイルスが拡大が続いています。感染状況や症状の特徴は？ 医療体制の現状は？ 専門家の見解は？ 詳しい情報をまとめています。

「WHOの言う「終わり」は終息でなくコロナとの共存か」専門家

2022年9月15日
WHOの首席保健官のテドロス事務局長が新型コロナウイルスのパンデミックの状況について「まだ到達していないが、終わりが視野に入ってきた」と述べたことについて、海外の感染症に詳しい東京医科大学の濱田篤郎特任教授は「WHOは次の感染の波が冬に来ると言っていて、「終わりが見える」というのは疑問に感じるところもある。…

「緊急搬送困難」9月11日までの1週間に3571件 減少の幅が拡大
2022年9月13日
9月11日までの1週間、救急患者の受け入れ先がすでに決まらない「搬送が困難な事例」は3571件と前の週より400件余り減ったものの依然として多い状態が続いていることが、総務省消防庁のまとめで分かりました。

コロナ第7波 “死亡者の多くは肺炎以外 容体の傾向が変化”
2022年9月11日
新型コロナウイルスの第7波では、感染者数の減少傾向が続く一方で、死亡する人の数は連日200人を超えるなど、依然として多い状況が続いています。

新型コロナウイルス “第6波”以降 中等症からの死亡が増加 90%近く
2022年9月11日
新型コロナウイルスの第6波以降、コロナの症状が中等症で亡くなる人の割合が増えたことが、国立国際医療研究センターが全国の患者のデータを分析した結果、分かりました。

新型コロナウイルスに感染の経路 出産時の感染対策マニュアル作成
2022年9月9日
経路が新型コロナウイルスに感染した場合、感染対策が難しいとして、コロナ専用病室がある病院での出産を求められることが多く、経路や病院の負担が大きいことが課題になっている。

都内の大学病院 コロナ感染拡大で高齢の入院患者増 持病も怖い
2022年9月9日
新型コロナウイルスの感染拡大で、都内の大学病院では高齢の入院患者が増加し、入院中に持病

コロナ自宅療養者156万人超 過半数 1人暮らしはどうすれば？
2022年8月24日
新型コロナウイルスに感染して自宅で療養している人の数は「第7波」に入って急増し、8月24日

新型コロナウイルス第7波 病床ひっ迫 「限界を超えた…」自宅療養者急増
2022年8月24日
「もし体調が悪化したら、救急車を呼ぶ」コロナに感染し自宅で療養する患者にとって「119番

コロナ自宅療養者 全国で142万人超 1人暮らしの患者にリスクも
2022年8月24日
新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養する患者が8月17日時点で全国で142万人以上になる中、容体が

人工透析専用の病床ひっ迫 東京では約170人が入院できず
2022年8月20日
新型コロナウイルスの感染の急拡大で、重い腎臓病などで人工透析を受けている患者用の病床が

沖縄本島地域 病床ひっ迫 “トリアージかけ入院決める状況”
2022年8月19日
新型コロナウイルスに対応する沖縄本島地域の病院では、コロナ専用の病床では足りず、ほかの一般の病

新型コロナウイルス 病床ひっ迫の救急病院 “高齢者入院長期化が要因”
2022年8月18日
新型コロナウイルスの感染拡大が深刻中、救急患者を受け入れている病院では、感染した高齢者の

お盆にコロナの症状悪化 入院できず 自宅療養せざるをえず
2022年8月15日
新型コロナウイルスの感染拡大が深刻中、お盆期間中も療養の役目が必要なほど症状が悪化しながら、

沖縄 “医療破綻的な状態”医療従事者感染 観光客の救急対応で
2022年8月12日
新型コロナウイルスの感染が収まらない中、沖縄県内の医療機関では医療従事者が感染するなどして人手が

愛知県 患者の搬送困難に コロナ患者病床の8割以上埋まる
2022年8月10日
新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、愛知県ではコロナ患者専用の病床の8割以上が埋

病院到着まで35時間超 都内コロナ患者 受け入れ先見つからず
2022年8月9日
新型コロナウイルスの感染が拡大する中、東京消防庁は、新型コロナウイルスに感染した70代の男性の搬送要請を受けてから病院に着くまでに35時間以上かかった事例があったと発表しました。

新型コロナウイルス 高齢者施設 入院先見つからず療養続けるケースも
2022年8月9日
新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養する人が過去最多の143万人余りに上っていますが、高齢者施設で療養する人も増えています。入院先が見つからずに療養を続けている人もいるほか、職員の感染も相次いでいて、施設ではサービスの一部停止などの影響が広がっています。

緊急搬送事例 第7波で最多 体制維持に危機感 大阪 堺市消防局
2022年8月9日
新型コロナウイルスの感染拡大が深刻なか、大阪 堺市の消防局では、救急患者の受け入れ先がすぐに決まらない「搬送困難事例」の数が第7波で最も多くなる一方、感染して出動できない職員が相次いでいて、救急搬送の体制は厳しい状況となっています。

8月7日までの1週間の「搬送困難事例」6589件 2連続で過去最多
2022年8月7日
新型コロナウイルスの感染が拡大する中、8月7日までの1週間、救急患者の受け入れ先がすぐに決まらない「搬送困難な事例」は6589件と、2連続で過去最多となったことが総務省消防庁のまとめで分かりました。

経路の感染急増 コロナ病床確保の病院へ転院 断られるケースも
2022年8月7日
地域の看護人材の中には経路が新型コロナウイルスに感染した場合、出産をコロナ病床のある病院で行ってもらうところもありますが、感染拡大で転院を断られるケースもあり、今後、クラスターを避けるながらも感染した経路の出産に対応していく必要をええいと苦慮しています。

コロナ感染で自宅療養 過去最多143万人余 療養が必要な患者は
2022年8月9日
新型コロナウイルスに感染し自宅で療養している患者は今日3日目の時点で過去最多の143万人余りに上っていて、医療機関の病床がひっ迫しているため呼吸の苦しさを解消するために「酸素濃縮装置」を使いながら自宅で療養する患者も増えています。

埼玉県 新型コロナ感染の要介護高齢者の臨時療養施設を設け
2022年8月8日
埼玉県は介護が必要な高齢の感染者が一時的に療養するための臨時の施設を所沢市に開設しました。

コロナ感染の医療従事者増え人手ひっ迫 緊急の処置に困難も
2022年8月8日
新型コロナウイルスの患者を受け入れている医療機関では、感染などが出動できない医師や看護師が増え人手がひっ迫していて、中にはコロナの患者の増加によってほかの重い病気や緊急の処置が必要な患者の受け入れが難しくなることへの危機感を強める病院も出ています。

新型コロナウイルス 自宅療養者が過去最多の143万8000人余に
2022年8月6日
新型コロナウイルスの感染が拡大する中、自宅で療養している感染者は3日時点で、過去最多の143万8000人余りに上ったことが厚生労働省のまとめで分かりました。

コロナと肺中核症いで救急隊員の重傷ひっ迫 「救急が苦戦」東京
2022年8月6日
都内では新型コロナウイルスの患者や中核症の疑いでの救急搬送が相次いでいて、救急車の出勤率が連日95%を超えています。救急隊の業務がひっ迫した状態が続いている、東京消防庁の救急部門の担当者は「連続での出動で肉体的にも精神的にも疲労が蓄積し、非常に厳しい状況にある」と話しています。

コロナ対応 看護師ら処遇改善 収入の3%程度引き上げ 財源確保
2022年8月3日
コロナの救急対応などを担う看護師らの処遇改善について、中医協＝中央社会保険医療協議会は、10月から入院費用に上乗せして財源を確保し、収入の3%程度を引き上げる案を了承しました。

コロナ自宅療養 “市販薬使った「セルフケア」浸透を”専門家
2022年8月2日
新型コロナウイルスに感染し、自宅で療養する人が増える中、国は先週、自分で検査した結果をもとに、医療機関を経ずに療養に入る対応を広げるなどとする、新たな対策の方針を示しました。

新型コロナウイルス 新型コロナ 専門家有志が今後の医療や保健所の対応で提言
2022年8月2日
新型コロナウイルス対策にあたる専門家の有志は、より多くの医療機関で入院できるようにすることや、保健所や医療機関の負担になってきた感染者の全数把握を段階的に見直すことなど、今後の医療や保健所の対応についての提言をまとめました。

「発熱外来での検査証明求めないで」総務省が地方自治体に要請
2022年8月2日
新型コロナウイルスに感染拡大で発熱外来が混雑し、医療のひっ迫が懸念される中、総務省は地方自治体に対し、職員が「仕事をする際には発熱外来での検査証明書などの提出を求めないよう要請しました。

末期がん患者がコロナに感染 搬送先見つからず自宅で死亡 東京
2022年8月1日
新型コロナウイルスの感染拡大で自宅療養者が急増する中、東京都内では末期がんの高齢患者がコロナに感染し、救急車を呼んだものの、搬送先が見つからず自宅で亡くなるケースがありました。診察した医師は…

保健・医療の逼迫に関する報道多数（一例として、第7波におけるNHK報道見出しのみ）→社会的関心高い！

ます。現場の医師は「この状況が続くと

の発熱相談センターに電話で相談するよ

いよう要請しました。

るという計算結果となりました。

関係者への取材で分かりました。

日本公衆衛生学会 公衆衛生モニタリング・レポート委員会活動*の要約：

2020/21年度の活動報告として、COVID-19におけるクラスター対応、医療提供体制、行動変容、産業保健のモニタリングにより「保健所の業務急増への対処策、医療逼迫への対応機能、3つの対策間の調整機能がいずれも未整備であることから、全体を俯瞰する初期戦略と戦略の経時的評価・改善が必要である」とした。

* 日本公衆衛生学会 公衆衛生モニタリング・レポート委員会

健康危機管理モニタリンググループ活動内容

- ・ 第76－79回日本公衆衛生学会公募シンポジウム
- ・ 国立保健医療科学院. 特集：健康危機管理－産学官連携を通じて次の災害に備えるために－. 保健医療科学 2019; 68: 73 - 146. <https://www.niph.go.jp/journal/data-68-2-j68-2/>
- ・ 古屋好美、中瀬克己他. わが国における健康危機管理の実務の現状と課題：公衆衛生モニタリング・レポート委員会活動報告. 日本公衆衛生雑誌 2020; 67(8): 493-500.



第79回全国保健所長会総会会員協議においては、保健所の健康危機管理業務において、
(1) 組織内サージ（質and/or量が通常業務の限界を超える事態）対処
(2) 多くの保健所においてサージが拡大した場合
について議論し、将来的な大規模健康危機に際して
行動や発信が可能であるように、教訓・集合知形成を提案する。